

# 資料の分析と活用 授業アイデア例（6時／9時）

## 〈本時の目標〉

- ・資料の分布の様子や特徴を基にして、資料の傾向を捉え、説明することができる。

## 〈本時で期待する生徒の姿〉

- ・「平成28年度学校基本調査」（文部科学省）から、資料の傾向を捉え、代表値の適切な使い方を考えることができる。捉えた資料の傾向を、根拠を示しながら説明することができる。

## 〈アクティブ・ラーニングの視点に立った授業づくりの工夫〉

### 資料を整理するための知識・技能を活用する

- ・どの代表値を根拠にしたのかを考え、ノートにまとめさせる。
- ・グループになり、それぞれの考えを説明し合い、グループとしての考えをまとめさせる。

身に付けた知識・技能を活用し、問題を解決させたり、説明させたりして「見方・考え方」を成長させる工夫をしました。



段階	学習活動																														
学習課題の把握・見通す	<p>1. 問題を捉える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>宮城県の中学校の数は、全部で213校あるそうです。ほかの都道府県と比べて、多い方でしょうか、少ない方でしょうか。</p> <p>すごい！213校もあるのか。多い方だと思います。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid pink; padding: 5px;"> <p>興味・関心を高めるとともに、自分の考えを持たせる。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>問題</b> 右の図は、都道府県別に中学校の数を調べ、ヒストグラムに表したものです。この資料を基に、宮城県の中学校数213校は、ほかの都道府県と比べて多い方か少ない方か、自分の考えを根拠を示しながら説明しなさい。 【資料：平成28年度学校基本調査（文部科学省）】</p> <div style="text-align: center;"> <p><b>都道府県別中学校数(平成28年度)</b></p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>都道府県別中学校数(平成28年度)</caption> <thead> <tr> <th>都道府県数</th> <th>中学校数(校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>8</td></tr> <tr><td>2</td><td>10</td></tr> <tr><td>3</td><td>12</td></tr> <tr><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>5</td><td>2</td></tr> <tr><td>6</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td></tr> <tr><td>9</td><td>1</td></tr> <tr><td>10</td><td>1</td></tr> <tr><td>11</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>0</td></tr> <tr><td>13</td><td>0</td></tr> <tr><td>14</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> <p>平均値：221校 中央値：169校</p> </div> </div>	都道府県数	中学校数(校)	1	8	2	10	3	12	4	6	5	2	6	0	7	2	8	3	9	1	10	1	11	0	12	0	13	0	14	1
	都道府県数	中学校数(校)																													
1	8																														
2	10																														
3	12																														
4	6																														
5	2																														
6	0																														
7	2																														
8	3																														
9	1																														
10	1																														
11	0																														
12	0																														
13	0																														
14	1																														
自力解決	<p>2. 課題を見だし、解き方を見通す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>前回までに勉強した代表値を用いればいいね。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid pink; padding: 5px;"> <p>前時までの学習内容を想起させ課題を見いださせる。</p> </div> </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>課題：目的に応じてどの代表値を用いて説明したらいいかを考えよう。</p> </div>																														
	<p>3. 自分の考えをノートに書く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>平均値が221校だから、少ない方だと思います。</p> <p>中央値が169校だから、多い方だと思います。</p> <p>最頻値が175校だから、多い方だと思います。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid pink; padding: 5px;"> <p>自分の考えを明確にするためにノートにまとめさせる。</p> </div> </div>																														

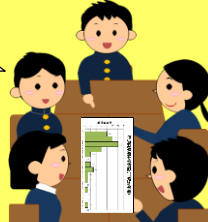
4. グループで考えをまとめる。



グループをつくって、自分の考えを伝え合ひましょう。そのとき、資料のどこから傾向を読み取ったのか指さしながら説明しましょう。そしてグループとしての考えをまとめましょう。

自分の考えだけでなく、その根拠になることを示しながら説明させる。

平均値が221校だから、少ない方だと思います。



私は、中央値が169校だから、多い方だと思います。

なるほど。範囲が広いから中央値で考えるといいかもね。

うちのグループは中央値で説明しようよ。

5. グループごとに説明する。

ヒストグラムを見ると、範囲が広いことがわかります。だから私たちは中央値を用いて考えました。中央値が169校なので、私たちのグループは、多い方だと考えました。



「説明の内容や説明の仕方」「資料の扱いが適切かどうか」などに注目させ、メモを取らせながら聞かせる。

6. 適用問題を解く。

適用問題： あなたは靴屋の店員です。右の表はあなたが働いている靴屋で、先月売れたあるスニーカーの数をサイズ別にまとめたものです。あなたは、店長に来月の仕入れを考えるように言われました。あなたはどのサイズのスニーカーを仕入れの中心として提案しますか。その理由も説明しなさい。

(平均値25.21 cm, 中央値25.25 cm  
※実態に応じて求めさせる)

サイズ(cm)	売れた数(足)
23.5	3
24.0	4
24.5	11
25.0	7
25.5	6
26.0	15
26.5	3
27.0	1
計	50



できた人から、考えを交流します。資料からどのように考えたのか、説明しましょう。そのとき、判断した理由を、きちんと話しましょう。



平均値が25.21 cmだから、25.5 cmを仕入れると思います。

最頻値が26.0 cmだから、26.0 cmを仕入れると思います。一番売れるものを仕入れた方がいいと思うからです。



7. 学習したことをまとめる。

8. 本時で学んだことを振り返る。



今日は、目的に応じてどの代表値を用いて説明したらいいかを考えました。今日の授業で新しく分かったことや考えたことをノートに書きましょう。



今までは、平均値を用いて考察することが多かったけれど、資料によっては、最頻値や、中央値で考察した方がよいこともあると分かりました。